

2021年4月 | ニュースレター

REVIVE ISRAEL

רביבי ישראל



リバイブイスラエルの友、皆さんへ



春というのはなんと美しい季節でしょう！

春は、新しい生命、希望、そして未来へのインスピレーションの時です。自然は主の栄光を宣言しています。

イスラエル人としては、規制が続く国が多い中、今年は屋外を楽しむことが許されていることを主に感謝しています。

また、現在結成の準備がなされている新しい連立政権のため、主を信頼しています。このために共に祈ってください感謝しています。

チームに会おう：タル・ロビン



タル・ロビンは、リバイブイスラエルのシニアリーダーかつ地域のコングリゲーションの長老です。彼はイスラエルで生まれましたが、彼の家族はルーマニアとフランスにルーツを持ちます。彼は結婚しており、5人の子供がいます。彼は言語を愛しており、ヘブル語、英語、オランダ語を話し、他にも多くの言語を少しずつ話すことができます。

彼はチェコ共和国、ポーランド、そしてスロバキアにてリバイブイスラエルのミニストリー同士の強固な繋がりを建てあげました。彼の願いは、イスラエルだけでなく、それらの国々でもリバイバルを目にすることです。その中でも特に、彼の心は正統派ユダヤ教のバックグラウンドを持つセクターに向けられています。主は彼にそのような人々と友達になる機会を多く与えています。

現在彼は私たちのコミュニティ農業弟子訓練センターの一員として、農業の働きと若者らのメンターの働きをしています。彼は才能のある庭師であり、建設家です。立派な建物から、子供たちとレゴを作るまで才能があります。

タルが父として、仕えるもののリーダーとして、また他の民族とイスラエル社会のセクターとの橋渡し役として用いられるようお祈りください。

「彼の王国が来る」-弟子訓練プログラム



RI コミュニティ農業弟子訓練センターのプログラムが終わりに近づくとつれ、私たちはこの8週間を見返し、起こった全ての事を振り返ることができています。神様の偉大な御手は、プログラム中ずっと私たちが予期しなかった形で動き続けていました。チームは協調の中で進行され、それぞれのメンバーがそれぞれの働きをまっとうしました。生徒らは、主から自由に受け取るだけでした。

それでも、彼らは厳しい試練にも会いました。一人はコロナウイルス陽性になり、チーム全体が隔離生活を送らざるを得ませんでした。一人一人が隔離されている間、どのようにして弟子訓練プログラムを続けるのでしょうか？神様にあれば不可能はありません。神様は、継続のためにクリエイティブな方法を与えてくださいました。ヴァレリー（プログラム中心役の一人）が、父親の葬儀のためスイスへ帰国した帰りに、コロナウイルス陽性と判明した時もです。彼女はもう10日、そこにとどまることになりました。ユヴァル（彼女の夫、プログラムリーダー）は、自宅で6人の子供たちの世話をする必要がありました。



「シニアリーダーの2人が居ない2週間の中でも、主は生徒一人一人の生活の上に働き続けてくださいました。全て彼がなされたことです。私たちが弱い時にこそ、主は強いのです。私たちの神は誠実なお方です。」オーガナイザーの一人、タル・ハロニは言いました。

たった2ヶ月の間で、この6人の生活がどれほど変わってしまったかは、この証からもわかります。このプログラムはあなた方の祈り、愛、そして支援なしの後ろ盾なしには成し遂げることができませんでした。このプログラムで、私たちを通して彼が良いお方である証を届けるために用いてくださったことを感謝しています。

若者の弟子訓練のため、このプログラムが発射台として用いられるようにどうかお祈りください。そして、生徒たちが元の生活に戻ってからも益々神の国とその勝利を求め続けるようお祈りください。

生徒からの証:



「仕事量は過剰ではなく、私たちには十分な時間が与えられていました。私は心の中にあった多くの問題に向き合い、解決することができました。それに直面するのに十分守られた環境でした。以前はしていませんでしたが、現在は神様の声に聞くようになりました。また話しかけるようになりました。私は変えられ、全く異なる”場所”にいます。」



「最初は、この枠組みの中で馴染むことができるか不安でした。現在は、正しい選択であったことがわかります。神様をもっと近くに感じます。私は一人で祈り、御言葉を読み、質問することができます。チームは素晴らしく、会話や何かを共有するのも居心地がよかったです。普段の生活に戻ってから、私自身どのように変化したのかを見るのが楽しみです。」

「プログラム中、私は自分の内面で多くの傷や解決されていない問題があることに気付かされました。ある夜、ワークショップの最中に私は内面で激しい主との戦いがあることを感じました。しかし、主に委ねた時、全ては平安と安らぎに変わりました。それは私にとって大きな啓示でした。主は私を信仰の高みへ連れて行くと約束してくれました。同時にこの経験を通して、家の外に植物を植えようと思わせました😊」

「主は非常に多くのことをなしてくださいました。それは、流れるような癒しの体験でした。イエシュアを信じる者として生活を送るために必要なツールを多く受け取りました。私は多くの勝利を体験しました。例えば、いつも自己中心的な考えでいてしまうことです。自己中心でいると、主が私を通して働かれるのを妨げます。プログラム中は、病に悩むこともありましたが、それにも関わらず、私は完全さと休息を感じていました。」

「私は主に委ねることにに関して大きく成長し、進歩したと感じます。以前は、私は全てを自分で解決しようとし、その中で自分を傷つけてきました。それはいつも私を悩ませました。プログラム中、私は、この拒絶に関する深い根を取り扱うツールを学びました。現在は、主にあって自分が何者であるのかという強い確信があります。」

リバイブイスラエル エルサレムベース



2021年のはじめ、私たちリバイブイスラエルは、ティクーングローバルファミリーの地域でのミニストリーの本部として、エルサレムに新しい事務局を立ち上げました！私たちは、この機会をグローバルファミリーに仕えるための重要な役割があると考えています。そして、エルサレム、ユダヤ、サマリヤから地の果てから、戻ってくるまで、リバイバルと回復の動きが世界中で引き起こされることにつながると信じています。

現在、エルサレム事務局で働いているメンバーは、アシェルとベティ、アリエルとヴェレッド、ジェレマイアとレイチェル、そしてサラです。このセンターは「Chevruta」と呼ばれるエルサレムのダウンタウンに位置しています。ヘブル語で「一体感」、共同体の交わり、コミュニティでの生活、などの意味があります。私たちは、賛美と礼拝を捧げるための祭壇を建てています。すでに若者のリトリートや、ワークショップナイト、オンラインでのグローバルギャザリング、ティーチングセミナーなどをホストしています。また、バルミツヴァクラスなど、アハヴァット・イエシュア Congrigeーションの活動も行っています。

皆さんの祈りに感謝しています！グループを招待し、オフィスやメディアスタジオ、一致、明確さを持ってより大きな建物を見つけつことができました。神の国の実りのため、扉が開かれ、この新しい土地で、大きな一歩を踏み出しました。

グローバルアウトリーチ：スペイン語チーム ヴェルガス家からのアップデート：



コロンビア出身の、マルロンとラウラヴェルガスは、テキサス、サンアントニオにてユースパスターとして奉仕していました。彼らは、リバイブイスラエルのスペイン語チーム代表として、リバイブイスラエル Español でのオンライン活動やインスタグラムの運用などを行っています。

1月には初めての子供、長男ジョサイアを迎えました。彼は3年前に与えられた主からの約束の成就でした。多くの悲しみをもたらしたパンデミックにも関わらず、主の守りと準備は、彼らのミニストリーを繁栄させました。全ての栄光を主に！「私たちは、今どのようにして親となるのかを学ぶ新しいシーズンにいます。そして、神様の愛と忍耐について深い理解が与えられています。」

2月26日に、彼らのミニストリーは、zoomとFacebookライブを用いて、インターナショナル祈禱会を開催しました。ラテンアメリカのほぼ全ての国から牧師たちが参加し、スペイン語圏の国々とイスラエルの一致のため、共に祈りました。

「私たちは、それぞれの国におけるキリストの体である信者、国のリーダーたち、そして救いのために祈りました。参加した牧師先生全員がミーティング中に祈る機会があり、聖霊様が力強く働かれる時となりました。このイベントはfacebookでライブ配信され、多くの人が参加することができました。とても祝福された時で、多くの実を結んだと信じています。」とマルロンは言いました。

LATINO AMERICA
ORA POR
LATINO AMERICA

Via Facebook Live - Vier 26 febrero

Por cada país, un pastor presente.
Líderes desde Jerusalén presentes.
Ayuno, Intercesión y Adoración.
Súmate! **TODOS** son bienvenidos!

ReviveIsrael Español



レイチェルとジェレマイア・スミルヴィッチ、リバイブイスラエル COO、CFO、スペイン語チームリーダーよりアップデート：

昨年6月、ジェレマイアとレイチェルは、5番目の子供、ショシャナを迎えました。

レイチェルは「正直、少し驚きましたが、主は私たちに彼女が必要であると知っておられました。出産たった10日後、ジェレマイアの母親が突然亡くなりました。家族は困惑しましたが、ショシャナの存在が痛みを和らげてくれました。彼女はたくさんの喜びと笑いをもたらしてくれます。主の知恵と思いやりの心に褒め称えます！

このシーズン、私たちは家族を失う悲しみと、5人の子供を育てるの同時進行の中でミニストリーを導くことを学ばされました。しかし、その中で一瞬でも孤独を感じた時はありませんでした。本物のアメージンググレース、驚くほどの恵みを体験したのです。」

栄光主に！

私たち全員が地球上にイエシュアの王国を確立するのを助けようとしているので、私たちと一緒にパートナーになってくれてありがとう！

寄付